

短期入所生活介護(ショートステイ)

ご利用いただき有難うございます

定員数30名



小形 恭子

田苗 和司

さわやかな笑顔と誠意ある対応に心掛け、利用者の皆様をお迎えさせていただきます。



6月から機能訓練加算を頂く事になりました。介護予防に向けてラジオ体操、軽体操等を毎日行っています。



ショートご利用者の受付窓口として調整相談・ケアプランの作成を行っています。利用者の皆様に合ったケアサービスを提供し、自立支援・介護者の負担軽減に添えるよう、真心を込めてお手伝いさせていただきます。

伊藤 香寿美

佐々木 康

藪田 美由紀

財団法人『車両競技公益資金記念財団』助成事業で

白光園の屋根・外壁が改修され生まれ変わりました!



『日本自転車振興会』様の助成をお受けする中で建設された白光園も、築後25年以上を経過する部分は老朽化が進み、大規模な補修を要する時期を迎えておりましたが、この度日本自転車振興会の関連公益法人である『(財)車両競技公益資金記念財団』様よりの助成を頂き、屋根・外壁の改修工事が完了致しました。ありがとうございました。

イメージチェンジした白光園を、どうぞご覧下さい。

平成16年度社会福祉法人白鷹福祉会決算状況

一般会計 白鷹福祉会合算
(本部・白光園・白光園DSC・はっぴーDSC・はっぴー在介・白鷹陽光学園)

資産の部		負債及び純資産の部	
流動資産	542,734	流動負債	42,944
固定資産	2,728,010	固定負債	243,645
		負債の部合計	286,589
		基本金	700
		国庫補助金等特別積立金	2,061,312
		その他の積立金	382,577
		次期繰越活動収支差額	539,566
		純資産の部合計	2,984,155
資産の部合計	3,270,744	負債及び純資産の部合計	3,270,744

事業活動収支計算書 (自平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

事業活動支出	1,108,653	事業活動収入	1,210,585
事業活動外支出	13,128	事業活動外収入	13,251
特別支出	3,336	特別収入	2,930
計	1,125,117	計	1,226,766

当期繰越活動収支差額計	101,649
前期繰越活動収支差額	437,917
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	539,566

※詳細は法人事務所において閲覧等の方法により開示します。



健康福祉課長 横澤 浩

「たそがれ清兵衛」のまなざしに寄せて

藤沢周平の小説を原作とする映画「たそがれ清兵衛」の中に、印象に残るシーンがある。

「いろり」を囲み、ささやかな夕餉の時、孫娘が自分の膳から魚の一切をそっと年老いた祖母の茶碗にのせてやる場面、

家族を慈しむという心の動きが深くしみる。それは、忘れていた記憶をなつかしくさせる人としての絆を感じさせるためかも知れない。

親と子、兄弟姉妹、夫婦の情愛の豊かさが、貧しくとも背筋を伸ばし、ひたむきに生きる人々の姿と思いに、ゆっくりとした時間として心に残る。

娘が清兵衛に内職の針仕事をしながら問う。「おなごは寺子屋

に行かねばならねえか」「うだな、今は学問は何も役にたたないけど、何か悩んだり困った時、それはお前のために、大切なものになるんだと思う」

「たそがれ清兵衛」題名のごとく、子供が成長する姿を、ただただ見詰めているそのまなざしに、生きる喜びを伝えるすがすがしさが、地域に根ざし、生活者としての視点で福祉社会を考えること、それは未来を語ることに繋がって、はじめて、人間社会の仕組みになるのではないか。そして、人間が人間であることの凛とした矜持を大切にし、互いに支え合う「結び」こそが、私たちの生きる風土を形づくるのではないかと。

社会保障の構造改革が進み、介護保険制度が定着する中で、昨年度の出生者数が101名、高齢化率が29.4%と、数値は、やさしさを拒むように、現実をみせつける。しかし、最上川が

悠久にその流れを生んでいるように、私たちはこの少子化、高齢社会を見据え、自立し持続可能な次世代に継ぐ福祉社会を創り上げる責務がある。そのことが、今まで少しでも豊かになりたいと懸命に努力してこられた人々への思いに通じ、そして子供たちに可能性のある未来を約束することになるのではないだろうか。人々が幸福を感じられる安全で安心して住める結びつき「包括的地域福祉ネットワーク」の

構築を自立と連帯を基本として創りあげなければなるまい。未来は決して悲観すべきものではなく、明るさを感じ、そして確かなものにするために。「文四郎」と「ふく」の清冽な恋がまぶしい「蝉しぐれ」。幼い二人が出会う川のほとりの茄子の紫に、初夏の陽ざしがふりそそぐ。この秋封切られる作品の中には、どんな時間が流れているのだろう。

(平成十七年初夏)

